

『松山市女子野球タウン』コンセプト

～ **ま** どんなたちよ **つ** どえ **や** きゅう女子の聖地 **ま** つやまへ ～



令和3年12月



松山市

1. 背景

松山市は、人口 50 万人を超える四国最大の都市であり、野球、サッカー、バスケットボールのプロスポーツチームを支援するホームタウンになっています。中でも、市民の野球への情熱は高く、正岡子規をはじめとする本市ゆかりの野球殿堂表彰者を 9 名輩出しているほか、市内の高校が春・夏合わせて甲子園で 8 回優勝するなど、輝かしい歴史があります。

そして、2022 年には地方開催で初めてとなる 3 回目のプロ野球オールスターゲームが、坊っちゃんスタジアムで開催されることから、この機会を契機と捉え、野球ファンの拡大や地域活性化に繋がりたいと考えています。

また、松山中央公園など充実したスポーツ施設に加え、陸海空からのアクセスが良く、全国有数の観光地でもあることから、数多くの大会や合宿の開催実績があります。

そのような中、女子野球に関しても、国内で初めて女子野球ワールドカップの開催や女子野球の最高峰である全日本女子硬式野球選手権大会の誘致等に加え、マドンナ松山の設立（2006 年）や新田高等学校野球部女子の創部（2018 年）など、機運の高まりが顕著となっています。また、日本で唯一、女性の名称を冠した「マドンナスタジアム」を有し、令和 2 年 11 月 16 日には全国に先駆けて、一般社団法人全日本女子野球連盟から『女子野球タウン』に第 1 号で認定されています。

「女子野球タウン」とは…

一般社団法人全日本女子野球連盟が、女子野球をシティプロモーションとして活用し、地域経済の活性化を目指す自治体を「女子野球タウン」に認定しています。

下記の必須 1 及び 2 の項目を必ず遂行し、基準 1 から 4 のうち、2 項目以上を遂行することと「認定基準」が定められています。

【認定基準】

必須 1 シティプロモーションの一環として女子野球を活用すること

必須 2 市区町村の特性を生かしたオリジナル企画の提案

基準 1 女子野球の大会誘致、実施をする、している

基準 2 球場や付帯施設を女子野球に活用する、している

基準 3 女子野球を通じ、地域の女性地位向上を考える活動をする、している

基準 4 女子野球を通じ、地域で新たな収益構造を生み出す、生み出している

【女子野球に関するこれまでの主な取組】

2006年	・マドンナ松山 設立 ・全日本女子硬式野球選手権大会 開催 継続
2008年	・子規記念杯野球女子大会 開催(～2017) ・第3回 IBAF女子野球ワールドカップ 日本初開催
2012年	・第5回 IBAF女子野球ワールドカップ日本代表直前合宿 実施
2014年	・第6回 IBAF女子野球ワールドカップ日本代表直前合宿 実施
2016年	・第7回 WBSC女子野球ワールドカップ日本代表直前合宿 実施
2018年	・新田高等学校野球部女子 創部 ・子規記念杯西日本女子硬式野球フェスタ 開催 継続 ・WBFJ女子中学生硬式野球大会 開催 継続 ・NPBガールズトーナメント 開催(2019, 2021)
2020年	・「女子野球タウン」認定(第1号)



全日本女子硬式野球選手権大会



子規記念杯西日本女子硬式野球フェスタ



IBAF 女子野球ワールドカップ



NPB ガールズトーナメント

2. 趣旨

『松山市女子野球タウン』コンセプト」を策定し、今後、更なる女子野球の普及・振興に向けて取り組むことで、新たな女子野球文化を築き、まちづくりや女性活躍の推進を図ります。

3. 実現に向けた施策展開

『松山市女子野球タウン』コンセプト」の実現に向けて、三つの基本方針を基に、各種施策を検討・実施します。



1 女性スポーツ推進

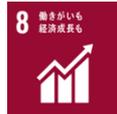


女性の社会進出が進む中、仕事や家事・育児により、女性がスポーツや運動に取り組むための時間や体力、機会が少なくなっています。令和2年2月に松山市が市民を対象に実施した「スポーツに関する市民アンケート調査」によると、運動不足を実感している男性46.1%に対し、女性は53.8%と7.7%高く、過去6か月間に運動やスポーツをしなかった男性34.8%に対し、女性43.3%と8.5%高い結果になっているため、女性のスポーツ実施率向上や女性指導者の育成に取り組めます。

🏆 主な取組

- ・親子や家族で楽しめる野球教室や、女性アスリート向けの講演会等を開催
- ・市内で活動する女性スポーツチーム（サッカー、ソフトボール等）との交流イベントや女性向けのスポーツ体験会等を実施
- ・子どもたちとの交流による次世代育成
- ・女子野球に関する情報発信
- ・女性が利用しやすいスポーツ施設の検討

2 スポーツコンベンション



女子野球関連の大会やイベント開催、合宿誘致等に取り組むことで、人的・経済的・文化的な交流が促され、交流人口の拡大や関連産業の振興等、地域経済への波及効果が期待されます。また、これらの取組を全国に情報発信することにより、本市の認知度向上に繋がります。

🏆 主な取組

- ・女子野球タウンに認定された他の自治体（佐賀県嬉野市、埼玉県加須市、広島県廿日市市、三次市、北海道喜茂別町、滋賀県東近江市、長野県松本市、兵庫県淡路市、和歌山県田辺市等）との連携
- ・中四国女子硬式野球連盟の加盟自治体間（愛媛、高知、広島、岡山、島根）の連携
- ・観光交流都市である神奈川県横須賀市等、交流がある自治体との連携
- ・海外の姉妹都市、友好交流都市との女子野球大会、合宿を実施
- ・旅行業者との連携によるスポーツツーリズムの推進
- ・野球や女性スポーツの推進につながる学会・研究会の誘致

3 女性活躍



一般社団法人全日本女子野球連盟によると、2016年に約15,000人であった女子野球の競技人口は、2019年には20,000人を超え、全国的に増加傾向にあります。今後さらに女子野球を取り巻く環境改善や活動支援に取り組むことで、活動の基盤が整い、競技レベルの向上や女性活躍の場の創出に繋がります。

また、総務省「住民基本台帳人口移動報告」によると、松山市の15歳～29歳の女性の転出超過は、2016年～2020年までの5年間で合計1,040人に上ります。女子野球を契機とした特色あるまちづくりを推進することで、女性の定住や移住を後押しする一助にします。

🏆 主な取組

- ・女子野球チーム（マドンナ松山、新田高等学校野球部女子）の活動支援（練習及び試合会場の優先利用、使用料の補助等）
- ・女子野球支援のための組織づくり（活動資金援助の基盤整備等）
- ・移住・定住関連の相談窓口との連携（住居、就職支援等）
- ・地域イベントへの参加等による地域貢献
- ・女子野球タウンロゴの活用（市職員名刺台紙）



発行 松山市

編集 松山市坂の上の雲まちづくり部

スポーツィングシティ推進課

〒790-8571

松山市二番町四丁目7番地2

TEL089-948-6889 FAX089-934-1287

E-mail sports@city.matsuyama.ehime.jp

発行日 令和3年12月
